
赤 潮 注 意 報

鹿児島県水産技術開発センター
 平成17年7月27日

八 代 海 No. 2

[1] 7月26日の東町漁協による調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

東町漁協による八代海赤潮調査の結果，広範囲においてコックロディニウム ポリクイコイデスが最高11cells/ml確認されました。また，伊唐島沖，熊本県津奈木町沖でシャトネラ アンティーカがそれぞれ1cells/ml確認されました。

(2) 海況

表層水温 25.4～28.3 (平均26.5)

表層塩分 30.8～32.6 (平均31.6)

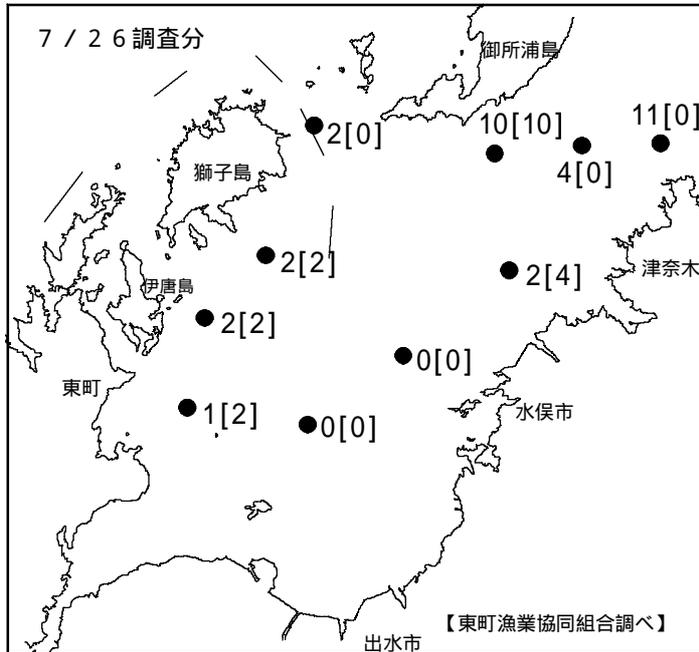
[2] 今後の赤潮発生の予想

今回の調査では，コックロディニウム ポリクイコイデスが広範囲に確認されています。また，当センターが7月20日に行った調査においても，同様に広範囲で確認されています。

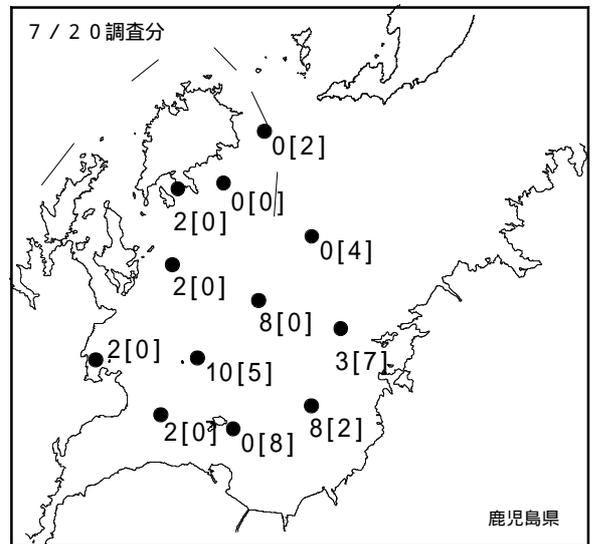
晴天が続いているため，塩分濃度も20日に比べ上昇しており，水温，塩分共に本種の最適水温・塩分にあることから，今後さらに増殖する可能性があります。

また，シャトネラ アンティーカについては，細胞数は少ないものの，熊本県では，7月21日にシャトネラ属に対する注意報を発令していますので，本種に対しても注意が必要です。

出現海域付近の養殖場では，海水の色や魚の状態に注意を払うとともに，検鏡などにより，今後，プランクトン数の十分な監視が必要です。



コックロディニウム ポリクイコイデス表層細胞数 (cells/ml) [] 内は5m層



コックロディニウム ポリクイコイデス表層細胞数 (cells/ml)
 [] 内は10m層 7/20調査結果

赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>